

初夏を迎えるあきる野の自然 ～ 巡り巡る生き物たち



ゴールデンウィークの頃からは、新緑のピークです。同時に、多くの夏鳥の飛来や、多くの昆虫類の出現やランなどの花、「かわいい、かっこいい、面白い生物」が沢山現れる季節です！

4月下旬からは既に代表的なオオルリ、キビタキ(上の写真)、ツツドリ、クロツグミなどの野鳥が山地でさえずり始めていました。姿が見えなくても、鳴き声を楽しむベストシーズンです。

山の溪谷などでは、ヒメクロサナエ、カラスアゲハ、アオバセリやトラフシジミなど、カラフルな生き物が飛び回ります。一言で、最高です！

また、その年の気候条件などにより、確認できる数に変化はありますが、キンラン、ギンラン、ササバギンラン、エビネ(右の写真)などのランの仲間が林床から「顔」を出



して綺麗な花を咲かせます。<ちなみに、盗掘はやめましょう～。自然から消えてしまいますし、持って帰った株は確実に枯れますよ！>

こんな時期なので、あきる野の自然豊かなハイキングコースでは出会いが多いのです。御岳沢(左上の写真)のロックガーデンや大岳沢のコースは代表的な山道で、馬頭刈尾根、戸倉三山や金比羅尾根の山もおすすめしま～す。



森っこサンちゃん

新たな侵入者 (◎v◎) あなたの庭にもいるかも??!



これぐらいが実物大ですよ～

2月下旬、厳しい寒さが一段落して、連日ポカポカ陽気に包まれた中、とある畑沿いの草地で、点々と短い飛行で移動するシジミチョウがいました(写真)。春のこの頃に見かけ始めるスギタニルリシジミなどの小さなシジミチョウの仲間ですが、よく見ないとほとんどが同じ種に見えます。「あれっ？ ヤマトシジミっぽいけど違うね・・・」と近付いてよく見てみると、「**ムシャクロツバメシジミ**じゃないか！」

ムシャクロツバメシジミは、あきる野では初確認となりますが、昨年までは神奈川のあちこちで確認されていると情報が出回っていましたので、そろそろあきる野にも現れるだろう、と気にしていた種類の一つです。中国原産の外来種で、温暖化や、食草であるベンケイソウ科の植栽などにより、卵や幼虫が運ばれ、分布を拡大しています。同じく、昨年は南方系のクロマダラソテツシジミやシンジュキノカワガが大量発生しました。

温暖化と共に増えていく様々な生き物。次は何でしょう？

あきる野産のアサギマダラ

寒さに弱く、渡りをする蝶として知られているアサギマダラは、秋にふわふわと風に乗れ、標高の高い場所まで上昇しながら南下する姿がとても印象的です(下の写真)。山梨県の山地で数十個体が集まる場面を見た覚えもあります。

実は、あきる野でも産卵→孵化→幼虫→羽化→成虫のサイクルが出来ていて、発生地の一つとなっています。しかも、温暖化(?)の影響により、幼虫の姿で越冬できるようになっています。食草のキジョランの分布も決め手となりますが、これも分布拡大中かも知れません。

幼虫は、ウミウシのようで面白い姿です(右の写真)



トラフシジミの魅力

トラフシジミは、この時期の美しい蝶の一つです。体は小さいうえ、通常は止まる時に翅を閉じるため、翅裏のオレンジ色の斑点としましま模様しか見えませんが、稀に翅を開く時は、表がピカッと見えてきます。まさに、大変美しいコバルトブルーそのものです！

この蝶は、里山環境、明るい沢や森林など、自然が豊かな環境であれば、時々見かけるやや普通種です。しかし、よく探さないで偶然出会うことは少ない種だと思います。と言いながら、あきる野の住宅街でも見かけたことがありますので、皆さんも自分の庭によく目を向ければ、会えるかも知れません。

自然満喫は注意深く！



ハイキングなどのハイシーズンに突入しましたが、せっかくの楽しい一日が事故に終わらないように、きちんと準備を行い、**野外活動は常に周りによく注意してお過ごしください。**

△ 頭上に枯れ木やかかり木などの枯損木はありませんか？

△ 近くにクマや毒ヘビなどの危ない野生動物はいませんか？

△ この川に入っても本当に大丈夫ですか？

△ 天気の崩れの心配はありませんか？

△ その草地にマダニはいませんか？

→→→ などなどです！！

